

日進市環境基本計画

年次報告書<やわらか版>

令和5年度

(令和4年度実績)

「親子里山体験～「里山」ってなに？体験してみよう!!」

総合運動公園にある四季の森で夏の森の景色や匂いに触れ、森の果たす役割について学びました。



「2024年のこどもたちへ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目次

環境基本計画について.....	2
水	4
緑	6
まち	8
ライフスタイル.....	10
コミュニティ.....	12
遊びと学び.....	14
市民意識調査から見た目標に対する達成状況.....	16

ハイライト

令和5年度の取り組みを紹介します

環境基本計画について

2024年(R5年)の未来像(ビジョン)は？

水

- ・日進市を流れ下る天白川は美しく、その源である三本木川や岩藤川は眩いばかりに輝いている。
- ・天白川だけではなく、街の至る所に飲みたくなるような水と、ずっとそこにいたくなるような情景をたたえた水辺がある。



緑

- ・東部丘陵は自然公園として昔と変わらない多様な自然環境を保ち続けている。
- ・日々人の目を楽しませる公園や街路樹など都市の緑は、里山の緑と繋がり、生態系を結び付けるだけでなく、地球温暖化防止にも一役買っている。



まち

- ・住宅街では、親しみのある街並みが昔と変わらず、人々のコミュニティを守り続けている。
- ・人々はマイカー利用を控え、安全な道路を徒歩や自転車で移動し、便利な公共交通機関を使うようになっている。



ライフスタイル

- ・街並みは変わらずとも、人々の生活様式は20年前と様変わりし、排水への配慮、省エネルギーなど自然にやさしい生活をしている。
- ・街を歩いているだけでも、不法投棄や散乱ごみのない美しいまちになっている。



コミュニティ

- ・人々やその活動は、コミュニティでよくまとまり、活発に情報発信している。

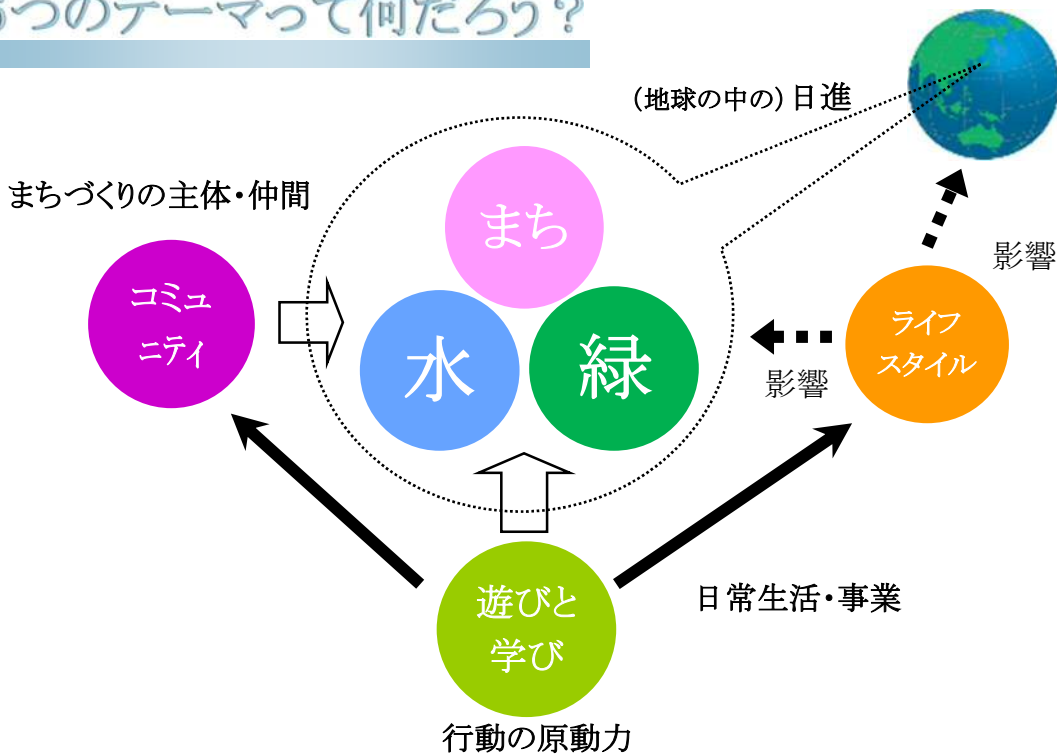


遊びと学び

- ・自然、環境について学んだり、気づいたりできる楽しいことがたくさん用意されている。



6つのテーマって何だろう？



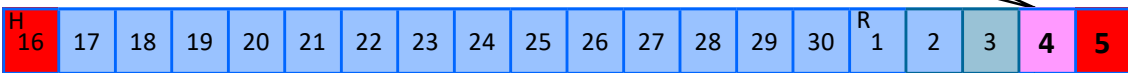
今は、計画のどのあたり？

環境基本計画は、計画期間の中で短期目標(5年間)と長期目標(10年間)を立てて進めています。今回は、長期目標の設定年度である令和4年度の実績報告です。

▼長期目標達成に向けて…

長期目標のゴールである令和5年度に向けて取り組みを進めています。達成している項目については引き続き維持するよう取り組みます。一方で達成されていない項目の中でも、年々指標が良くなってきている項目や悪化したり向上したりというように横ばいになっているものもあります。残すところ令和5年度の1年間となりましたが、一つでも多くの項目が目標を達成できるよう、また、達成できないものでも指標が改善するよう取り組んでいきます。

START



2004.4
(H16年度)

2023.3 (R4年度)

GOAL

2024.3
(R5年度)

環境基本計画



「環境」「基本」「計画」という3つの言葉の組み合わせでできているこの計画

県や市などそれぞれの自治体が独自に作る「自分たちのまちの環境をこんなふうにしていこう!」という基本的かつ重要な行政計画のことです。

計画の経緯

日進市では、平成13～15年度の3年をかけて、市民と市職員との共働で「日進市環境基本計画」をつくりました。

中間の見直し(平成25年度)では、ESD(※P14参照)の推進と多様な組織の参加、連携促進を盛り込んでいます。

水

14 石の量かさを
ひらう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



海洋プラスチックごみ問題

プラスチック製のペットボトルなどは適切な処分がされないことにより、河川から海に流され海洋プラスチックごみになります。そうしたごみが海洋汚染や生態系に影響を及ぼすことが問題視されています。

日進市では小学校の出前授業として、折戸川にホテルを飛ばそう会が、ホテルの生態の学習とともに河川の環境保全の大切さについても学習の機会を与えています。

ポイ捨てを行わないのはもちろんですが、日頃からマイバッグやマイボトルを持ち歩くなど、プラスチックごみを減らす行動が求められます。

[環境課 環境政策係]

TEL: 0561-73-2896

水について

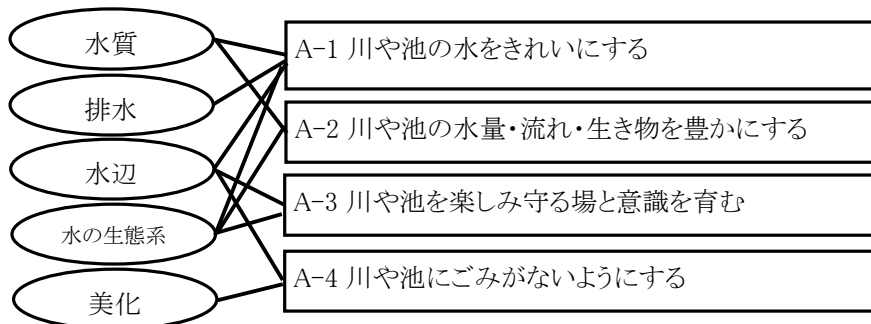
日進で「水」と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、市域を東西に流れる天白川とその支流です。あるのが「当たり前」になっている水ですが、私たちにとってかけがえのない、無くてはならないものです。水は気体や個体などさまざまな形に姿を変え、私たちの生活にかかわっています。そして水は何度も自然の中で循環し、再生を繰り返しています。

きらきら光る水面、そこに映る季節の景色、鳥たちが舞い、魚が躍る、そんな美しい水辺であるように、河川やため池、排水の調査を行うことで川の現状を知り、川がきれいになるにはどうすればよいかを考えていきます。また、市民の憩いの場として、「ふるさと日進」の大切な要素としてまちづくりを活かしていきます。

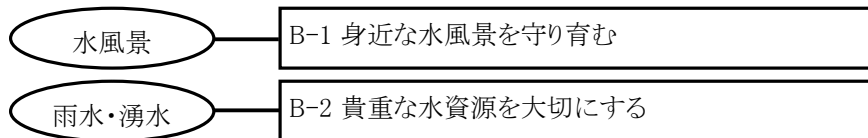


何をするの？

◆ A. 川や池の水と水辺



◆ B. 水の風景・水資源



何をしたの？(R4年度の取り組み<抜粋>)

東部丘陵を源流とし、市の中心部を流れる天白川は私たちにとって身近な河川です。この天白川で、川に住む生き物から水質を調査する、「水生生物調査」を実施しました。水生生物調査は、毎年8月の第1木曜日に環境課と愛知中央ライオンズクラブとの共催で実施しており、令和4年度は、35名の参加があり、毎年人気のあるイベントです。

参加者は見つけた生き物の特徴や、どのような水質で生息できる生き物なのか、在来種と外来種の違いについてなど、熱心に講師の説明に耳を傾けながら、きれいな川を守っていく大切さを学びました。



生活排水を考えましょう

川や海の汚れは、台所・洗濯・風呂などの生活雑排水が主な原因となっています。

きれいな水環境を守るためには、日常での生活排水対策や浄化槽を正しく管理することが大切です。

合併浄化槽は、家庭から出る水の汚れの約90%を除去することができます。

単独浄化槽から合併浄化槽へ転換の際には、費用の一部を補助します。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 環境保全係]

TEL: 0561-73-2843

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R4実績	長期目標【R5】	到達率※	達成
A1	河川のBOD平均値 (各河川測定地点値)	mg/L	2.8	3.0	5以下	167%	○
	生活排水処理率	%	83	91.9	93	99%	
A2	多自然型河川・親水公園等の整備箇所数	箇所	—	—	10	0%	
A3	水生生物調査延べ参加者数	人	575	1,221	2,000	61%	
A4	河川愛護団体数	団体	10	10	20	50%	
B1	ため池の数	箇所	44	40	現状維持	91%	
	1人1日当たりの水道使用量	L	233	228	210 (10%減)	92%	
B2	浄化槽雨水貯留施設転用補助数(累計)	世帯	75	78	108	72%	

※ 到達率とは、長期目標(R5)に対する実績値(R4)を割合としたもの(次頁以降同じ。)
(実績値(R4)÷長期目標(R5))

緑



緑の基本計画

本市における緑豊かなまちづくりを市民と協働して進めていくために、緑に関する指針となる計画です。旧計画策定から10年が経ち、計画の満了を迎えるとともに、緑に関する情勢の変化に対応するため、令和2年度に計画の改定を行いました。

「みんなでつくろう 後世まで良質な緑で豊かさを感じられるまち 日進」を基本理念とし、緑の保全・活用・創出・支援に取り組んでいきます。

詳しくは、都市計画課までお問い合わせください。

[都市計画課 公園緑地係]

TEL:0561-73-3297

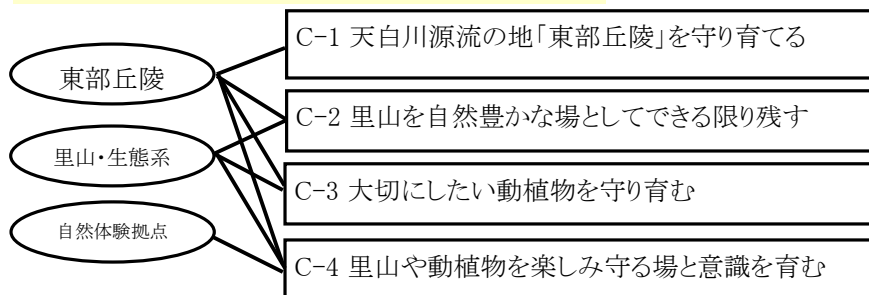
緑について

緑のある風景といえば、里山や田畑など、日本のふるさとの原風景を思い浮かべる人も少なくないでしょう。緑は生き物の命を育み生態系をつなぐ場となっています。また、光合成により二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の抑制にも役立っています。こうした森や緑がなくなるということは、空気やそこで暮らす生物たちのつながりもなくなってしまうこととなります。

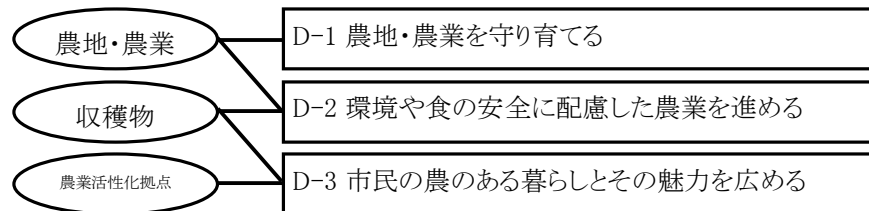
市の東部には、緑豊かな自然が残されています。このような多様な自然環境を守るとともに、人々が自然を感じ学ぶ場所を次の世代へ引き継いでいくこと、また農地・農業にも関心をもち、農業がもっと親しみやすいものとなるよう、地域の農業を活性化し人と緑、人と人を結びつけるようなみどりあふれる豊かなまち、日進を目指しています。

何をするの？

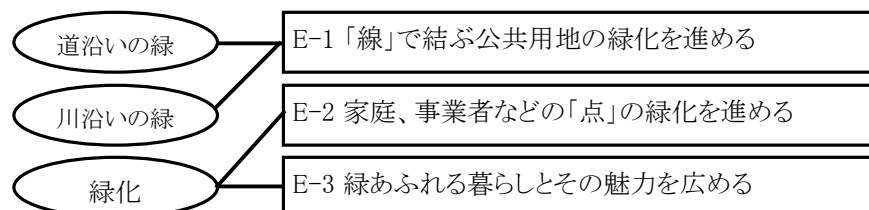
◆ C. 里山と息づく動植物



◆ D. 農のある暮らし



◆ E. 緑のネットワーク



何をしたの？(R4年度の取り組み＜抜粋＞)

北高上緑地はじめ、日進市には多くの里山があります。里山とは、人里に隣接し、人の手によって環境維持・管理してきた農地、ため池、草原などで構成される地域を指します。里山は緑豊かな自然を残すだけでなく、多くの生き物の生息地となっています。

日進市では、里山と触れ合う機会を創出することで、里山を守り育てるための仕組みづくりを行っています。その取組としてシイタケ栽培体験、竹炭作りなど、里山の自然の豊かさを感じられる講座などを開催しました。

昨今の原油価格や物価高騰の影響により、経営の安定に支障が生じている認定農業者等や農業を営む販売農家に対して、営農意欲の向上と農業経営の安定を図るために、にっしん農業元氣補助金を交付しました。また、新たな農産物の6次産業化の取組として、市内農業者、パン屋、ケーキ屋、飲食店などとコラボし、日進市産農畜産物を加工した新たな商品の開発、販売を行いました。

生物多様性

地球上には、3,000万種ともいわれる多様な生き物がいます。

生物多様性とは、いろいろな生き物がお互いつながりあい、支え合って豊かな生態系を築いていることです。

私たちの暮らしは水、食べ物、資材や技術など、あらゆる場面で生物多様性の恩恵を受けています。これらは私たちの豊かな生活に欠かすことはできないものです。

長い年月をかけて築かれてきたこのつながりが今、危機に直面しています。開発や地球温暖化、外来種など、近年、生態系のバランスが急速に崩れてきています。

生物多様性を守りながら、それによってもたらされる恩恵をずっと先の未来でも受けられる社会を作っていくための取組が必要とされています。

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R4実績	長期目標【R5】	到達率	達成
C1	森林面積※	ha	654	610	593以上維持	103%	○
C2	里山保全活動拠点数	箇所	6	6	10	60%	
C3	大清水湿地に発現すると見られる10種の希少種保護数	種	9	9	10	90%	
C4	日進自然歩道延長	km	5	6.8	30	23%	
D1	農地面積	ha	470	430	452以上維持	95%	
	休耕田の面積	ha	56	44	41	93%	
D2	学校給食における地場産物の使用率	%	57.7	64.1	60	107%	○
D3	市民菜園区画数	区画	1,111	1,166	3,000	39%	
E1	緑地率(緑被率)※	%	41	-(30)	39 確保	—	
E2	公園等愛護会活動公園数	箇所	51	63	84	75%	
E3	市民に開放された樹林地箇所数	箇所	14	15	50	30%	

※これまで用いていた緑地率は、市において民間施設緑地率が把握できないことから、緑の基本計画において緑地率の代替として緑被率を用いることとしたことにあわせて、R3から緑被率に変更しました。

まち



くるりんばす

くるりんばすは、日進市の生活交通手段として運行しており、その利用者の約半数が65歳以上の高齢者です。また、通勤や通学にもご利用いただいています。

環境への取組としては、排出ガス規制に適合し、燃費効率の良いバスを使用することで環境負荷低減に取り組むべく、平成29年度より計画的にバスの買い替えを実施し、令和3年度で7台全てのバスの入れ替えが完了しました。

また、「みんなが支える公共交通が、活力とにぎわいを生むまち」を基本方針とした日進市地域公共交通計画を策定しました。計画に位置付けた事業である「環境にやさしい公共交通を便利に利用できる環境整備の推進」を実施していきます。

[防災交通課 移動政策室]

TEL:0561-73-3249

まちについて

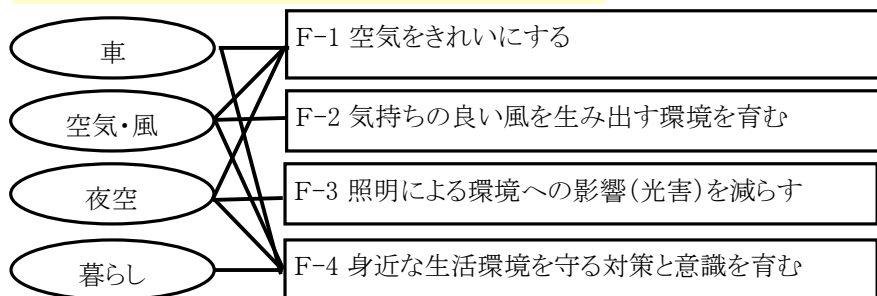
環境には、自然だけではなく、私たちが暮らす場所も含まれています。歴史や文化、住みやすさなど、人が暮らす空間を「まち」ととらえ、暮らしや住環境について考えています。

住環境に目を向けると、地球温暖化の要因の一つである車の排気ガスが問題となっています。そこで、低公害車の普及や公共交通機関の利用を進めることで車中心の生活を見直して、自然と調和した、市民が憩い、歩きながらまちを楽しめる空間を作り出すことを目指しています。

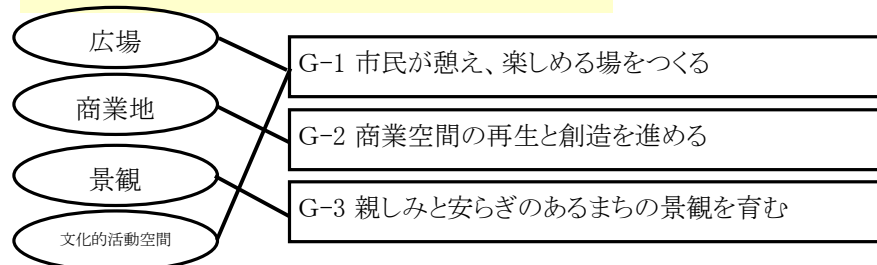
また、昔ながらの建物は今でも人々の手で大切に守られていて、歴史や文化を継承して活かすことにより愛着の持てる、誇りにできる「まち」を創り出すという、環境保全と市街化という、一見矛盾したものを調和させながらまちづくりを進めています。

何をするの？

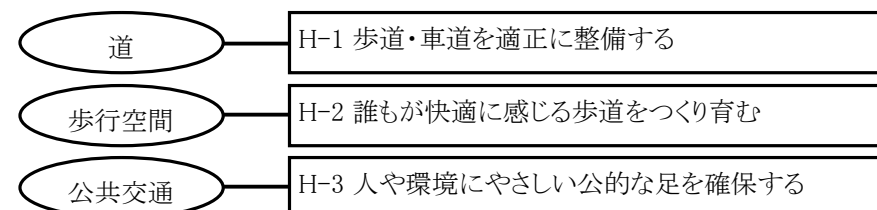
◆ F. 生活環境



◆ G. まちなみ・まちかど



◆ H. みちと足



何をしたの？(R4年度の取り組み<抜粋>)

生活環境の美化の促進を図るため、従来のポイ捨て及びふん害の防止に関する条例に路上喫煙の防止に関する規定を追加整備し、市内でも特に人の往来が多い赤池駅周辺を令和4年6月1日から路上喫煙禁止区域に指定しました。また、地元自治会とともにこの区域で周知啓発活動を行いました。



地域の公共交通について、名古屋商科大学と連携協力に関する協定を締結し、スクールバスの学生利用の少ない時間帯での市民利用が可能になりました。また、新たな交通手段の確立やスマートシティの実現に向けた取り組みの一環として、デマンドタクシーや自動運転バス(電気自動車)の実証実験を行いました。

公共交通の利用促進を図るため、物価高騰の影響を受ける子育て世帯などに交通系ICカードmanaca(マナカ)を配布しました。

日進市小規模企業・ 中小企業振興基本条例

この条例は、市の発展に重要な役割を担う小規模企業等がさらに発展していくために、市、事業者、関係機関等が連携して小規模企業等の振興に取り組む姿勢を示すものです。

今後は、この条例に基づき小規模企業等振興施策を策定・実施し、地域経済の発展や市民生活の向上を図ります。

[産業振興課 商工新ビジネス係]

TEL:0561-76-7366

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R4実績	長期目標【R5】	到達率	達成
F1	大気汚染に係る環境基準適合率	%	100	100	100	100%	○
	エコドライブ宣言者数	人	0	1,033	4,000	26%	
	市所有自動車のエコカー導入率	%	57.8	54	100	54%	
F2	緑のカーテン延べ参加者数	人	558	1,268	2,000	63%	
F3	光害苦情処理件数	件	0	0	0	100%	○
F4	公害苦情処理件数(光害を除く)	件	125	66	113	171%	○
G1	市民一人あたりの公園面積	m ²	9.0	8.4	10	84%	
G2	事業所数	件	2,383	2,087	2,350	89%	
G3	まちなみ保存地区数	地区	0	0	2	0%	
H1	幹線道路の歩道整備率	%	78.3	80.4	85	95%	
H2	道路緑化	m ²	24,780	27,518	26,000	106%	○
H3	ぐるりんばすの一日あたり利用者数 (元中央線(名鉄バス)含む)	人	1,404	728 (943)	1,600	59%	

※大気汚染に係る環境基準適合率は、浅田町と五色園の大気測定データが環境省の基準を満たしているため達成となっています。

ライフスタイルについて

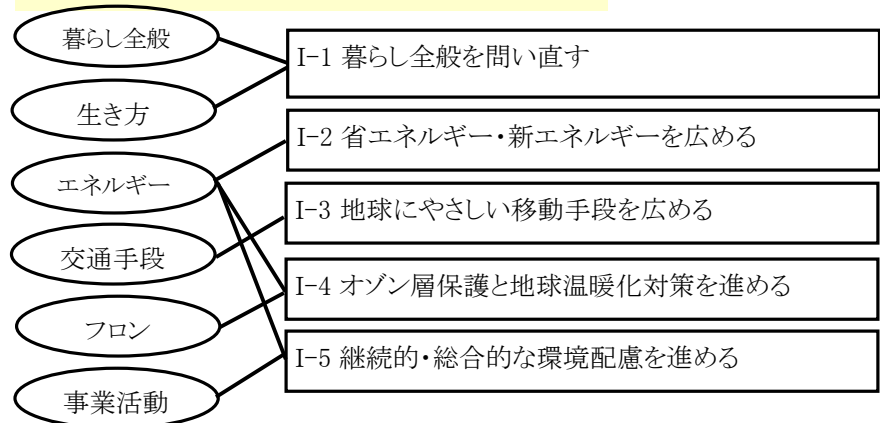
現代の私たちのライフスタイルは、環境に大きく影響を与えます。そして私たちが便利な生活をするほど、地球の環境は悪くなっていきます。そんな私たちの現代的なライフスタイルや考え方を改める必要があるかもしれません。

でも、やっぱり便利でやめられない。なんとかしなくちゃ、そんな想いはあっても、何をすればいいのか分からない。そういう人も多いのではないのでしょうか。市では、地球温暖化やごみ問題などについて、生活しながらできる取り組みを広報、ホームページ、メールマガジン等で情報を発信しています。

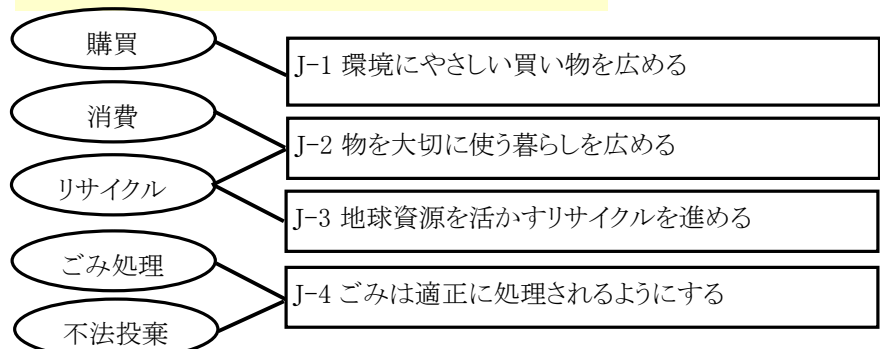
その他にも、情報を伝えられた人の「行動につながる」効果的な情報の一つに口コミがあります。そこで講座やイベントなどの機会を設け、参加者の口から口へと伝わることで、一緒に楽しむ仲間が増え、こころと体にもやさしいエコ生活を始めてもらいたいと考えています。

何をするの？

◆ I. 暮らし全般・エネルギー



◆ J. 生活と廃棄物



COOL CHOICE

日進市は、令和4年2月に2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、地域全体で取り組むことを宣言しました。

人口増加を続ける本市においては、家庭部門での二酸化炭素排出量を削減する取組が大切となります。

今後も、家庭部門での二酸化炭素排出量削減対策としてクールチョイス(二酸化炭素の排出を削減しながら、快適な暮らしにもつながる「賢い選択」をしていこうという取り組み)の普及啓発を推進していきます。

【はじめよう！COOL CHOICE】

- ・夏はクールビズ(室温28℃を目安)、冬はウォームビズ(室温20℃を目安)
- ・省エネ家電をチョイス
- ・エコモビに挑戦
- ・緑のカーテンを育てよう
- ・宅配便は1回で受け取る

など

何をしたの？(R4年度の取り組み＜抜粋＞)

5月30日から一番近い日曜日の5月29日、「ごみゼロ」を目指して530(ごみゼロ)運動が開催されました。市役所周辺の約2キロの道のりを1時間ほど掛けて歩き、ごみを拾いました。

市ではこの「530(ごみゼロ)運動」を愛知中央ライオンズクラブが主催し、毎年恒例行事として長年行ってきましたが、ここ2年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催していなかったため、今年は3年ぶりの開催となりました。分散集合、分散出発などの密にならないコロナ対策に加えて、熱中症対策の準備がされる中、団体や企業、一般から申し込んだ約250人が参加しました。



日進市一般廃棄物処理基本計画を作成しました

平成28年度の見直しから5年が経過し、ごみ・資源量の現状や社会情勢の変化等に対応するため、日進市一般廃棄物処理基本計画を見直しました。

令和8年度の計画目標達成に向けて、更なるごみの減量、再生利用の促進、最終処分(埋立)量の低減等を目指した取り組みを進めていきます。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

【環境課 資源循環係】

TEL:0561-73-2883

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R4実績	長期目標【R5】	到達率	達成
I1	エコライフ宣言者数	人	0	1,943	3,000	65%	
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	%	4.0	10.8	25	43%	
I3	市内3駅の乗降客数	人	37,590	数字は年末頃	54,000	64%	
I4	市役所環境保全のための行動計画達成率	%	84.1	93.6	100	94%	
I5	ISO14001取得事業者数 (エコアクション21取得者を含む)	社	21	28	25	112%	○
J1	環境配慮宣言店舗数	店	79	87	向上	110%	○
J2	フリーマーケット開催数	回	1	0	5	0%	
J3	リサイクル率	%	27.2	25.9	28.3	92%	
J4	1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	939	792	770	97%	
	不法投棄量	t	43	15	9	60%	

コミュニティ



にぎわい交流館

にぎわい交流館は、市民自治活動支援の拠点及び国際交流・大学交流の拠点として、また、広く市民の皆様が交流できる場となるよう、平成17年11月に誕生しました。

1階市民サロンは、待ち合わせ、おしゃべり、くるりんぱす待ちなど、いつでも気軽にご利用いただけます。また、お昼には、ワンデイシェフによるランチの提供も行っています。

2階では、日進市国際交流協会において、多言語による外国人相談室を開設しているほか、人権・男女共同参画情報コーナーでの関連図書の閲覧や貸し出しも行っていきます。

ランチの営業日その他の詳細は、にぎわい交流館までお問い合わせください。

[にぎわい交流館]

Tel:0561-75-6650

コミュニティについて

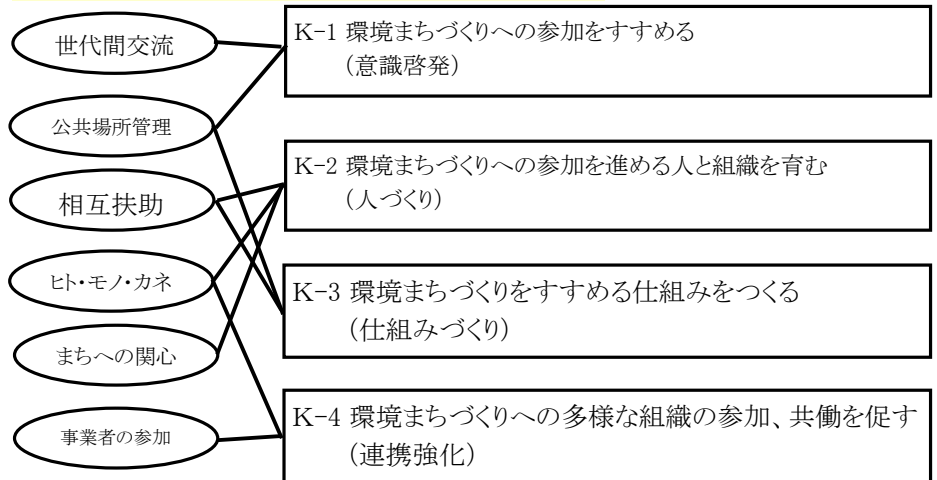
現代環境とコミュニティには、とても深いつながりがあります。コミュニティは人間が「いきる」環境そのもの。コミュニティは、環境まちづくりの大切な要素なのです。

どんなまちづくりも、いちばん大切なのは人と人のつながりというソフト面。素晴らしいコやキマリができて、そこで暮らす人たちが仲良くいきいきとしていなければ、意味がありません。そのために、環境というどんな立場の人たちにも等しく関わる視点をもって、人と人とのつながりを作って深めていくことが大切なのです。



何をするの？

◆ K. コミュニティ



何をしたの？(R4年度の取り組み＜抜粋＞)

市民や市民団体、企業と行政が皆で作上げる仕組みとして「にしん環境まちづくりサポーターズ制度」を平成28年度から実施しています。市民や団体の皆さんに会員になっていただき、いろいろなエコ活動を実践していただくことで、にしんの環境まちづくりを進め、持続可能な社会の実現を目指して作られました。サポーターズ会員には、令和4年度末までに延べ2,536件の方に登録いただいています。

この制度は、ESD(持続可能な開発のための教育)の活動支援も伴っており、ESD環境講座、市の環境イベントに参加、緑のカーテンコンテストへ参加など、環境まちづくりに関わる講座等へ参加した市民の方にポイントを交付しています。また、他の部署のイベントである、北高上緑地見学会やにしん健康マイレージなどへの参加においてもポイントを交付しています。

令和4年度においても、集めたポイントに応じて素敵な景品があたる抽選会を開催し、多くの方にご参加いただきました。



日進市環境基本計画
パートナーシップ事業

市民団体の皆様が行う環境活動や環境イベントで、日進市環境基本計画のパートナーとして計画を推進していただける事業やイベントを募集しています。※日進市市民活動団体登録を行っている団体が対象です。

【R4年度実績 6団体6事業】

- ・日進市・ペット共生文化を考える会
『飼い主マナーの普及事業』
- ・ワンズパス(one's path)
『学用品・食品ゆずりあいプロジェクト』
- ・日進岩藤川自然観察会
『日進岩藤川自然観察会』
- ・にしん市民環境ネット
『農育プロジェクト』
- ・にしん地域猫の会
『猫の譲渡会&相談会』
- ・天白川で楽しみ隊
『天白川で楽しみたい!』

[環境課 環境政策係]
TEL:0561-73-2896

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R4実績	長期目標【R5】	到達率	達成
K1	区・自治会加入率	%	71.1	72.9	80	91%	
K2	にぎわい交流館の利用者数	人	35,550	15,465	41,000	38%	
K3	環境パートナーシップ協定締結団体数 (環境まちづくりパートナーシップ制度団体)	団体	— (—)	— (56)	20	280%	○
K4	地域活動参加事業者数	事業者	14	8	20	40%	

※「環境パートナーシップ協定締結団体」については「-」となっていますが、市の方針としては環境まちづくりパートナーシップ制度の団体数に統合しています。こちらの団体数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

遊びと 学び



ESDとは？

ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略称で、「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

日進市では講座などを通して、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。



遊びと学びについて

このテーマでは、ESDの考え方である「人と自然」「人と社会」「人と人」のつながりを大切にし、様々な世代の方に、遊びの中で学びながら環境まちづくりやそれにつながる活動を進める力を身につけてもらい市民全体の環境に対する感性をみがいていきたいと考えています。

代表的な取り組み

にしんESD講座

日進市で活躍する市民団体と共働で行っている「公募提案型事業」では、環境基本計画の施策に沿った「水・緑・まち・ライフスタイル・その他環境全般に関する環境共育」に関する講座を実施しています。また、その他にも企業と連携した学習講座も多く実施しています。



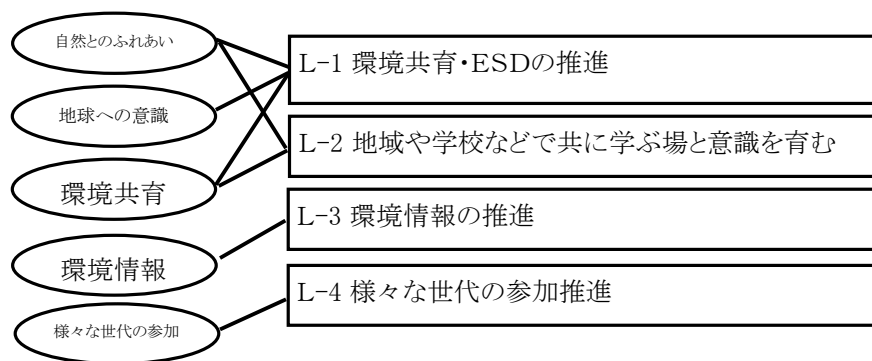
(写真左:「食べ物とごみのさかい目はどこ？～ごみをなくそう大作戦！～」より)



(写真右:「地球温暖化を学ぶ科学実験教室」より)

何をするの？

◆ L. 遊びと学び



何をしたの？(R4年度の取り組み＜抜粋＞)

「持続可能な地域社会づくり」をめざして、『にっしんESD講座』などの環境共育講座を市民団体・企業・地域と協働ですすめています。環境共育では、市の地域資源を活用し、地域を知り、人と人がつながり、課題に取り組んでいくこと、そのために出来ることは何かを考えるきっかけになることを目指しています。全体では、54事業を開催し、約1,534人の皆さんとつながり、体験することで学びを深めることができました。



(写真左上:「段ボールコンポストで家庭の生ごみを堆肥化し、作物栽培に生かす実践講座」より)

(写真右上:「梨子ノ木の草地と森で生き物さがし&樹木医が伝える“木の言葉”」より)

(写真左下:「環境にやさしいお米づくりを体験しよう」より)

(写真右下:「愛知池の魅力発見」渡り蝶を通じて生物多様性を学ぶ」より)

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R4実績	長期目標【R5】	到達率	達成
L1	環境共育講座数	講座	16	61	30	203%	○
L2	環境パートナーシップ事業数	件	4	6	20	30%	
L3	エコフェスタ参加団体数 (にっしんわいわいフェスティバル参加団体数)	団体	31	72(20)	40	180%	○
L4	子どもエコクラブへの参加子ども数※ (環境まちづくりサポーターズ子ども会員数)	人	106 (-)	7 (551)	300	184%	○

※「子どもエコクラブへの参加子ども数」については減っていますが、代替として環境まちづくりサポーターズ制度の会員数に統合しています。こちらの会員数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

持続可能な社会の実現

パリ協定や持続可能な開発目標(SDGs)などを背景として、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)(以下「ESGという。」の3分野への取組を踏まえた資金の流れが世界的に広がっています。事業者が持続可能性の基盤となるESG要素を取り入れ、環境課題と経済・社会的課題の同時解決に向けた取組を広めていくことで、地域の持続可能な成長につながる事が期待されます。

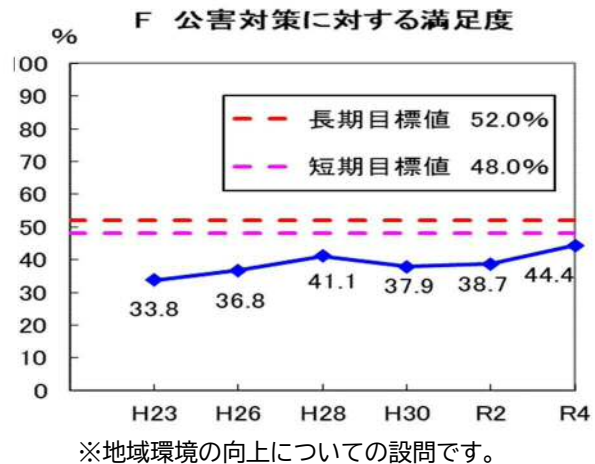
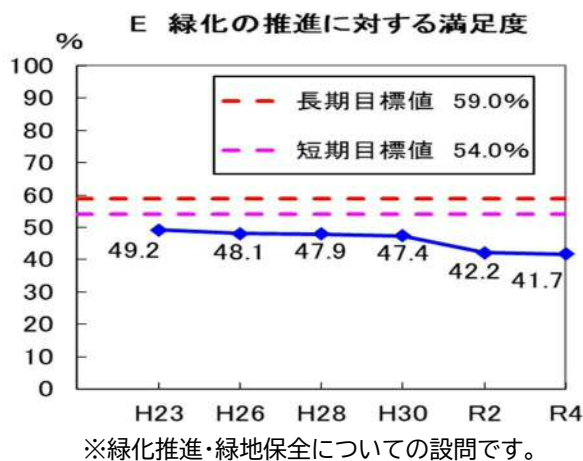
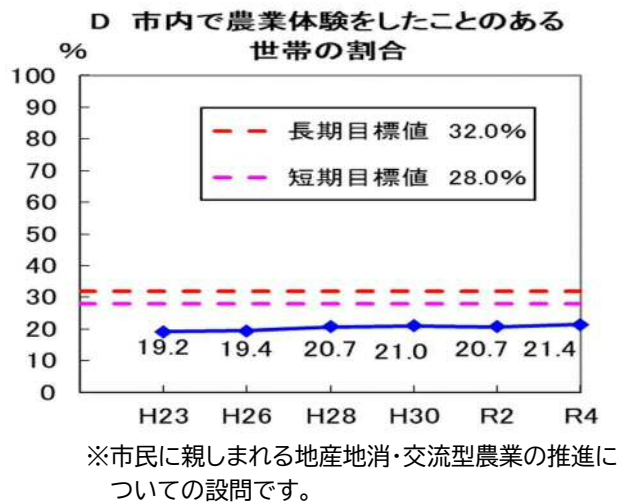
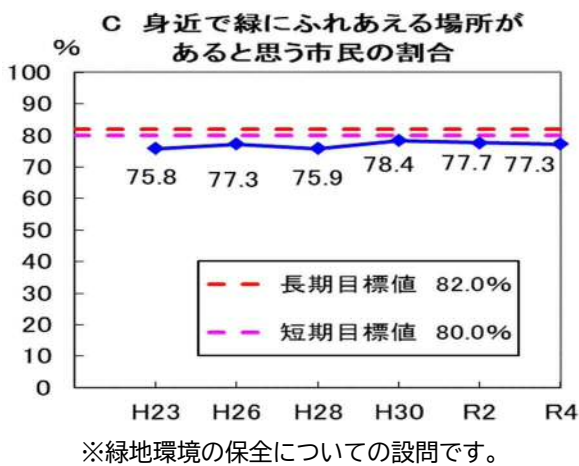
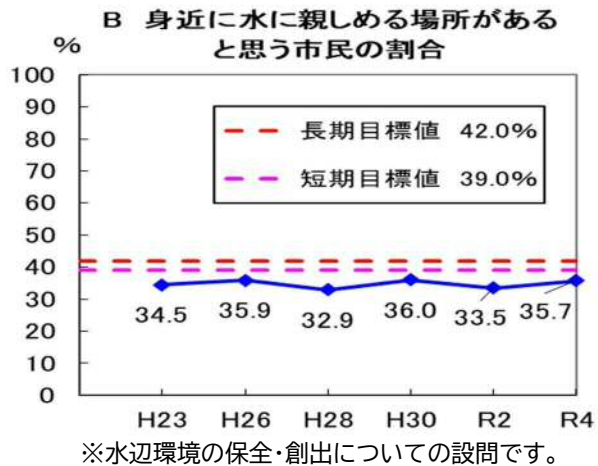
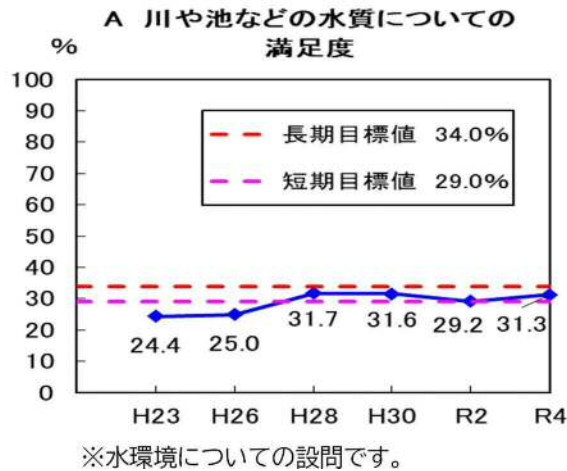
日進市においても、ESD・SDGsの推進のため、SDGsカードゲームを用いた職員研修などを実施しており、ゲームを通して社会課題の相互のつながりに気づくことから、課題を共有し、連携していくことの大切さを実感し、業務に活かしていきます。

市、市民、事業者がそれぞれの立場で課題解決に向けて取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指しましょう。

市民意識調査から見た目標に対する達成状況

市民意識調査って何だろう？

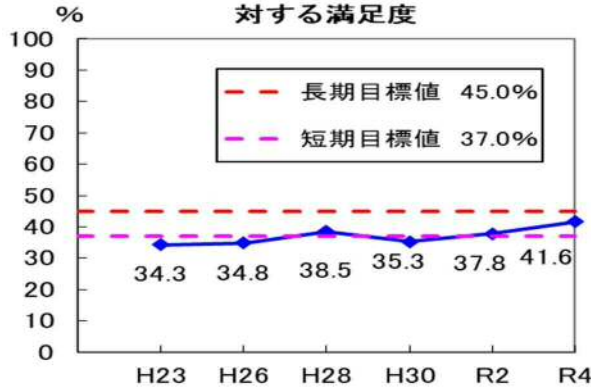
日進市総合計画(※1)に掲げる各施策の進行管理及び評価を行うために、2年に一度を目安として行う調査です。



【調査概要】

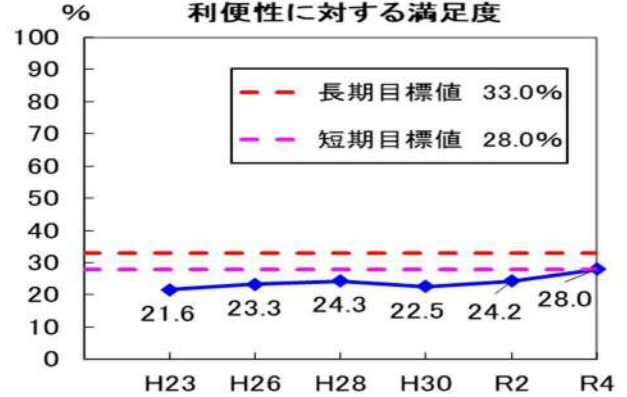
1. 調査対象：日進市在住の18歳以上の方
2. 抽出方法：無作為抽出
3. 調査方法：郵送・インターネット
4. 調査期間：令和4年6月30日～7月19日
5. 配布数：3,000通
6. 有効回答数：1,292通
7. 有効回答率：43.1%

G まちなみや道路景観に対する満足度



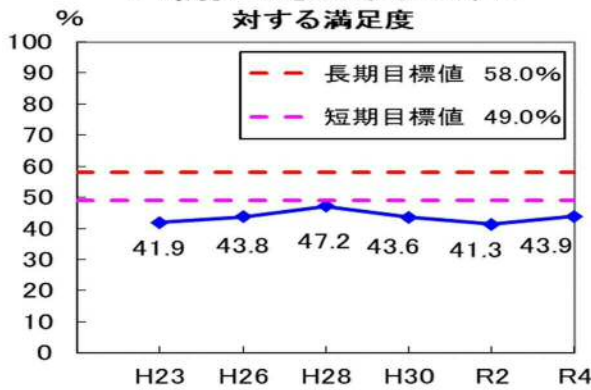
※景観についての設問です。

H 自転車や徒歩による道路の利便性に対する満足度



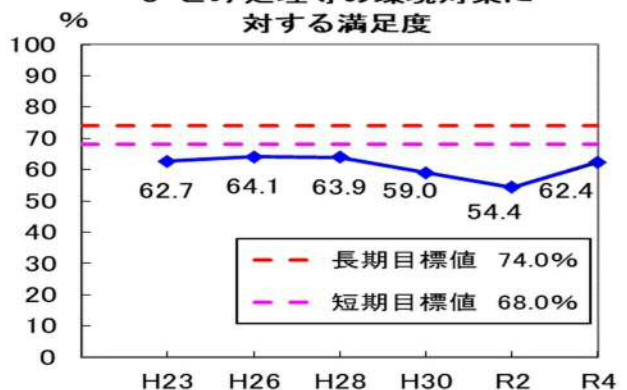
※交通環境整備による安全性の確保についての設問です。

I 環境にやさしいまちづくりに対する満足度



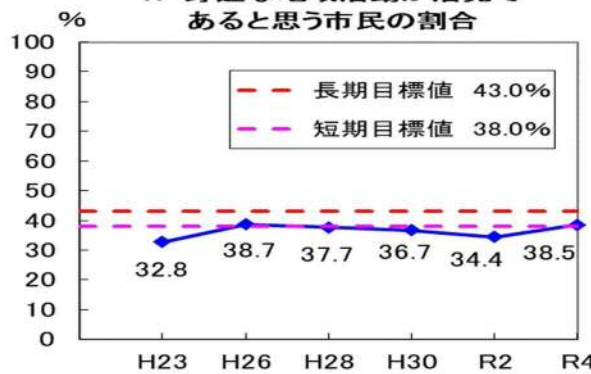
※低炭素社会に向けた取組についての設問です。

J ごみ処理等の環境対策に対する満足度



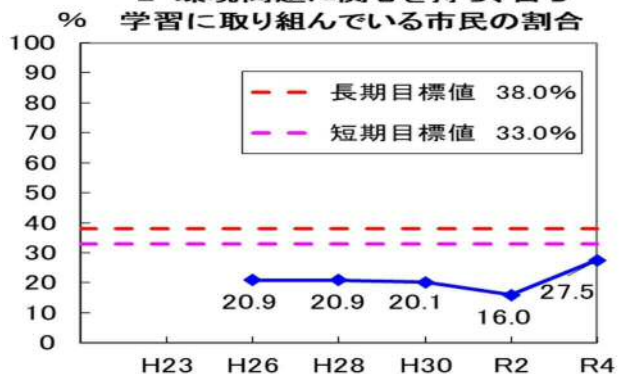
※ごみの適正処理と再資源化の推進についての設問です。

K 身近な地域活動が活発であると思う市民の割合



※地域コミュニティ活動の活性化支援についての設問です。

L 環境問題に関心を持ち、自ら学習に取り組んでいる市民の割合



※環境意識の向上についての設問です。

※2 各表の割合は、環境や日常生活に関する暮らしやすさの評価の設問において、満足している人の割合です。

※3 「L」にH23の記載が無いのは、H23とH26で質問内容が変わったことにより比較ができないため、この項目に限りH26を基準値としています。

令和5年度の取り組みを紹介します！

ESDの考え方を取り入れた人づくりでSDGsに貢献！

日進市ではSDGs達成に貢献できるよう、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。令和5年度も生き物や自然、環境にやさしい生活など、体験しながら楽しく学べるESD講座を多数開催します。どの講座も、「未来の地球のために自分にできること」について考えるきっかけとなるような内容となっています。

また、各ESD講座は開催後、講座内容をまとめたレポートを公開しています。ESD講座のレポートは市のホームページでご覧いただけます。



ESD講座レポート

次世代自動車の普及を促進するため次の事業を実施します。

1.次世代自動車の購入費に対する補助を開始します！

次世代自動車の普及を促進し、自動車からの温室効果ガスの排出量を削減することにより、地球温暖化対策を推進するため、次世代自動車の購入者に対し、補助金を交付します。

【対象車両と補助額】

- ・電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車 5万円
- ・燃料電池自動車 20万円

詳細は市のホームページをご覧ください。



補助金HP

2.公用車に電気自動車を導入します！

次世代自動車の普及を促進するため、公用車に電気自動車を導入します。



3.市役所に充電ステーションを設置します！

充電ステーションを市役所に設置し、次世代自動車の利用環境を整備します。



日進市のSDGs

に関する取り組み

名古屋商科大学からの提案型大学連携事業として、マーケティング論を学ぶ学生が授業の中で市のSDGsの推進策を考え、プレゼンテーションしました。授業では各日3人の学生が代表で発表し、「子育て支援策が充実している」「自然が豊か」といった市の特徴を取り入れた提案をしました。授業には市職員が採点者として参加し、SDGsや市の特徴の理解度、独自性、プレゼンテーション能力といった点で、一番優れたその日の提案をトウデイズベストとして選出しました。



[企画政策課 企画経営係]

TEL:0561-76-0015



令和5年10月

発行:日進市

生活安全部 環境課

住所:日進市蟹甲町池下268番地

電話:0561-73-2896

FAX:0561-72-4603

Email:kankyo@city.nisshin.lg.jp